

飛騨市まちづくりレシピ

まちづくりって特別なことじゃなく、みんなの暮らしがちょっと豊かになる活動。
飛騨市内で活動されているまちづくり団体を紹介していきます。
気になる活動があれば、気軽に参加してみませんか？

世のため人のためは、めぐりめぐって
自分のために。8分間の恋人！

希夢千家けいちゃん 坂本佳祐 さん



▲本場韓国へ唐辛子の仕入れに！



▲このトラックに見覚えのある方も多はず



▲けいちゃんに会いに来る恋人たち…♪

「以前テレビに取材されたとき「8分間の恋人」って紹介してもらったんです。移動スーパーの買い物時間ってそれくらいの時間なんですけど、毎日何十人もの恋人たちに会いに行く。そんな生活です。」

そう話してくれたのは、『希夢千家けいちゃん』を営む坂本佳祐さん。生まれは神岡。東京の大学を出て、オーストラリアへ留学、そして韓国での料理修行を経て、26歳の時に地元神岡に店をオープンさせました。

「就職も考えましたが、向いていない気がして。他の人がやっていないこと、びっくりすることをやりたかって気持ちはずっとあって。やりたいことがあったら、まずしてみる。スタッフには『冒険家』と呼ばれています(笑)。」

最初の5年ほどはキムチ販売や1日1組限定のディナー営業などを行っていましたが、2015年から移動スーパーを始めました。「たまたま見た新聞記事に移動スーパーのことが載っていて。まちにも杖を突いたり、押し車を使ったり、高齢の方が増えたなって実感もあって。きっと買い物に苦労してるんだろうなって思ったら、自分がやるしかないって思いました。」補助金なども活用しながら、車を用意し、商品の仕入れ先を確保し、まちを回ってお客さんを見つけ、そんな地道な努力とともに『移動スーパーまごころけいちゃん』は始まりました。

「夏の車内は40度越え、冬は雪道で、正直体力的にも辛いですし、これだけで生計が立てられる事業ではありません。でも、毎日のお客さんの「ありがとう」と笑顔に支えられています。1日1回はお客さんを笑わそうが目標なんです。」

そんな坂本さんは毎年飛騨市に英語教材の寄付も続けています。移動スーパーに募金箱を設置し、寄付はこの募金も活用しているそう。「買い物の度に寄付してくれるお客さんも多いんです。僕は、『世のため人のためは、めぐりめぐって自分のためになる』と想着いて。自分はやりたいことをやって、お金だけじゃないものをたくさんもらっているんです。」と語ってくれた坂本さん。今年も、飛騨地域の子供たちに100個のクリスマスケーキをプレゼントするそう。「これもたまたま見たニュースがきっかけなんです。クリスマスを楽しめる子どもが増えたらいいなって。これは今年のイベント出店で得た売り上げと募金でプレゼントします。家族みんなで食卓を囲むきっかけになったら嬉しいですね。」

自分を育ててくれた地域に恩返しをしたい。それがベースにあると語ってくれた坂本さん。子どもの頃のジュニアリーダーでの経験や、地域の大人たちとの関わりなど、地域に育ててもらった、今も育ててもらっているという気持ちなんだそう。やりたいことが見つかったら、即実行!!そんな坂本さんの次の冒険が楽しみです。

基本情報

店舗開業：2011年

活動地域：神岡、古川、上宝
(移動スーパーエリア)

目標：飛騨にやりたいことや起業をする人、冒険家が増えるよう、その先駆者になること。

▼英語教材の寄付も8年目になりました。



▲まごころ弁当は企業やロケ弁にも人気!

飛騨市のまちづくり最新情報はこちら▶

<https://www.city.hida.gifu.jp/site/hidaplus/>

